OAG・ドイツ東洋文化研究協会主催

SIEBOLD-SEMINAR

2005-2006年の「日本におけるドイツ年」を迎えるのを機に、その1年前から日本語による研究会の開催準備がすすめられ、2004年9月6日に第1回を開催した。以来、2019年9月14日までの開催数は150回におよんでいる。

研究会は多方面の人々の交流の場となり、互いに新しい視野からの関心を引きおこして刺激を受ける機会となっている。開催日時： 毎月第2月曜日、18時30分（聴講は無料）。会場： OAGドイツ東洋文化研究協会セミナールームまたはホール。コーディネーター：大胡真人。これまでの講義内容は以下のとおりである。

2004 年（平成 16）

001.	9 月 6 日	石山禎一：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの 1861 年日記（1)」
	06.09.	Ishiyama Yoshikazu: „Philipp Franz von Siebolds Tagebuch aus dem Jahr 1861“
002.	10 月 4 日	石山禎一：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの 1861 年日記（2)」
	04.10.	Ishiyama Yoshikazu: „Philipp Franz von Siebolds Tagebuch aus dem Jahr 1861“
003.	11 月 8 日	石山禎一：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの 1861 年日記（3)」
	08.11.	Ishiyama Yoshikazu: „Philipp Franz von Siebolds Tagebuch aus dem Jahr 1861“
004.	12 月 6 日	石山禎一：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの 1861 年日記（4)」
	06.12.	Ishiyama Yoshikazu: „Philipp Franz von Siebolds Tagebuch aus dem Jahr 1861“

2005 年（平成 17）

005.	1 月 17 日	石山禎一：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの 1861 年日記（5)」
	17.01.	Ishiyama Yoshikazu: „Philipp Franz von Siebolds Tagebuch aus dem Jahr 1861“
006.	2 月 14 日	石山禎一：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの 1861 年日記（6)」
	14.02.	Ishiyama Yoshikazu: „Philipp Franz von Siebolds Tagebuch aus dem Jahr 1861“
007.	3 月 7 日	石山禎一：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの 1861 年日記（7)」
	07.03.	Ishiyama Yoshikazu: „Philipp Franz von Siebolds Tagebuch aus dem Jahr 1861“
008.	4 月 11 日	石山禎一：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの 1861 年日記（8)」
	11.04.	Ishiyama Yoshikazu: „Philipp Franz von Siebolds Tagebuch aus dem Jahr 1861“
009.	5 月 9 日	加藤僖重：「牧野植物標本館とライデン国立植物標本館のシーボルト標本について」
	09.05.	Katō Nobushige: „Über das Makino-Herbarium und die Siebold Pflanzenarten im Besitz des staatlichen Herbariums Leiden“

010.	6 月 6 日	加藤僖重：「牧野植物標本館所蔵のシーボルト収集標本について」
	06.06.	Katō Nobushige: „Über die Siebold Sammlung im Besitz des Makino-Herbariums“
011.	10 月 17 日	向井晃：「シーボルト再渡来時舶載の洋書目録」
	17.10.	Mukai Akira: „Siebolds Bibliothek westlicher Bücher während seiner zweiten Japan-Reise“
012.	11 月 14 日	加藤僖重：「シーボルトの資料整理時における『データーペーパー」
	14.11.	Katō Nobushige: „Siebolds Datenblätter‘ – zu Siebolds Katalogisierung der Arten“
013.	12 月 12 日	牧幸一：「シーボルトの足跡を辿って」
	12.12.	Maki Kōichi: „Auf Siebolds Spuren“

2006 年（平成 18）

014.	1 月 16 日	石山禎一：「シーボルト再渡来時の日記に見えるシーボルト・コレクション （1)」
	16.01.	Ishiyama Yoshikazu: „Siebolds Sammlungen während seines zweiten Japanaufenthalts – Im Lichte seiner Tagebücher (1)“
015.	2 月 13 日	石山禎一：「シーボルト再渡来時の日記に見えるシーボルト・コレクション （2)」
	13.02.	Ishiyama Yoshikazu: „(2) Siebolds Sammlungen während seines zweiten Japanaufenthalts – Im Lichte seiner Tagebücher“ (2)
016.	3 月 1 日–3 日	「日独シーボルト・シンポジウム。日本におけるドイツ年　2005/06」
	01. – 03.03.	Deutsch-Japanisches Siebold-Symposium im ‚Deutschland in Japan‘-Jahr 2005/06, „Siebold – Suche nach einem Gesamtbild“
017.	3 月 13 日	石山禎一：「シーボルト再渡来時の日記に見えるシーボルト・コレクション （3)」
	13.03.	Ishiyama Yoshikazu: „Siebolds Sammlungen während seines zweiten Japanaufenthalts – Im Lichte seiner Tagebücher (3)“
018.	4 月 10 日	八坂立人：「シーボルトの植物画と出版」
	10.04.	Yasaka Tatsuhito: „Siebold und seine Pflanzenzeichnungen“
019.	5 月 8 日	新田満夫：「シーボルト『日本』」
	08.05.	Nitta Mitsuo: „Siebolds　NIPPON“
020.	6 月 12 日	宮崎克則：「シーボルト『日本』の山々と谷文晁の『名山図譜』(有名な山の絵図)」
	12.06.	Miyazaki Katsunori: „Über die Berge in Siebolds NIPPON und die Meizanzufu (Abbildungen berühmter Berge) von TANI Bunchō“
021.	9 月 11 日	村井和夫：「図書資料のデジタル化について」
	11.09.	Murai Kazuo: „Zur Digitalisierung existierender Bibliotheksbestände“
022.	10 月 16 日	矢田京二：「図書および文書の複写機開発」
	16.10.	Yata Kyoji: „Entwicklung von Scannern für Bücher und Dokumente“

023.	11 月 13 日	関口忠志：「ハインリッヒ・フォン・シーボルト、その生涯と遺品 （1）」
	13.11.	Sekiguchi Tadashi: „Heinrich von Siebold, sein Leben und Nachlass (1)“
024.	12 月 11 日	関口忠志：「ハインリッヒ・フォン・シーボルト、その生涯と遺品 （2）」
	11.12.	Sekiguchi Tadashi: „Heinrich von Siebold, sein Leben und Nachlass (2)“

2007 年（平成 19）

025.	1 月 15 日	関口忠志：「ハインリッヒ・フォン・シーボルト、その生涯と遺品 （3）」
	15.01.	Sekiguchi Tadashi: „Heinrich von Siebold, sein Leben und Nachlass (3)“
026.	2 月 19 日	小林宏道：「シーボルト、言葉と絵 （1）」
	19.02.	Kobayashi Hiromichi: „Siebold – In Wort und Bild (1)“
027.	3 月 12 日	小林宏道：「シーボルト、言葉と絵 （2）」
	12.03.	Kobayashi Hiromichi: „Siebold – In Wort und Bild (2)“
028.	4 月 9 日	石山禎一：「シーボルトのボッパルト時代（1852 年）の新たな日記 （1）」
	09.04.	Ishiyama Yoshikazu: „Neues über Siebolds Tagebücher aus seiner Zeit in Boppard (1852), (1)“
029.	5 月 14 日	石山禎一：「シーボルトのボッパルト（1852 年）の新たな日記 （2）」
	14.05.	Ishiyama Yoshikazu: „Neues über Siebolds Tagebücher aus seiner Zeit in Boppard (1852), (2)“
030.	6 月 11 日	沓澤宣賢：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトとハインリッヒ・フォン・シーボルトのオリジナル文書について」
	11.06.	Kutsuzawa Nobukata: „Über die Originaldokumente von Philipp Franz von Siebold und Heinrich von Siebold“
031.	9 月 10 日	沓澤宣賢：「シーボルトの最終旅行後の研究と著作 （1）」
	10.09.	Kutsuzawa Nobukata: „Siebolds Arbeit und Werk nach seiner letzten Rückkehr aus Japan (1)“
032.	10 月 1 日	沓澤宣賢：「シーボルトの最終旅行後の研究と著作 （2）」
	01.10.	Kutsuzawa Nobukata: „Siebolds Arbeit und Werk nach seiner letzten Rückkehr aus Japan (2)“
033.	11 月 19 日	原田信男：「シーボルトと北海道のアイヌ」
	19.11.	Harada Nobuo: „Siebold und die Ainu von Hokkaidō“
034.	12 月 10 日	田崎明：「シーボルト、オリジナル図書の 70 年代におけるファクシミリ版の出版」
	10.12.	Tazaki Akira: „Über die japanische Wiederauflage von Siebolds Originalpublikationen in den 1970er Jahren“

2008 年（平成 20 年）

035.	1 月 21 日	石山禎一:「シーボルトと日本の植物相 (1)」
	21.01.	Ishiyama Yoshikazu: „Siebold und die japanische Pflanzenwelt (1)“
036.	2 月 18 日	石山禎一:「シーボルトと日本の植物相 (2)」
	18.02.	Ishiyama Yoshikazu: „Siebold und die japanische Pflanzenwelt (2)“
037.	3 月 10 日	市古健次:「シーボルトとの出会い、『日本植物誌』(1835-70) の価値」
	10.03.	Ichiko Kenji: „Begegnung mit Siebold. Die Bedeutung von Flora Japonica (1835-70)“
038.	4 月 14 日	石山禎一:「シーボルトと日本の植物相 (3)」
	14.04.	Ishiyama Yoshikazu: „Siebold und japanische Pflanzenwelt (3)“
039.	5 月 12 日	足沢匡:「シーボルトの『日本植物誌』とフローラル・アート (1)」
	12.05.	Tarusawa Tadashi: „Siebolds Flora Japonica und Floral Art (1)“
040.	6 月 9 日	足沢匡:「シーボルトの『日本植物誌』とフローラル・アート (2)」
	09.06.	Tarusawa Tadashi: „Siebolds Flora Japonica und Floral Art (2)“
041.	9 月 8 日	桂川靖夫:「ツンベリー、シーボルトの先行者-その人と業績」
	08.09.	Katsuragawa Yasuo: „Leben und Werk des Siebold–Vorgängers Thunberg“
042.	10 月 6 日	関昭男:「VOC-東インド会社と通貨の発行」
	06.10.	Seki Akio: „VOC-Vereinigte Ostindische Gesellschaft und ihre Münzen“
043.	11 月 17 日	栗原福也:「素顔のシーボルト、新資料による記録文書 (1)」
	17.11.	Kurihara Fukuya: „Siebolds unbekanntes Gesicht. Neu entdeckte Siebold–Dokumentationen (1)“
044.	12 月 8 日	堀憲昭:「わがシーボルト遍歴 ― その虚像と実像を追って」
	08.12.	Hori Kenshō: „Wanderschaft mit Siebold − Überlegungen zum imaginären und realen Bild Siebolds“

2009 年（平成 21）

045.	1 月 19 日	栗原福也:「素顔のシーボルト、新資料による記録文書 (2)」
	19.01.	Kurihara Fukuya: „Siebolds unbekanntes Gesicht. Neu entdeckte Siebold–Dokumentationen (2)"
046.	2 月 9 日	山村義照:「東洋文庫所蔵シーボルト文書。フォト・シュタット版の資料について」
	09.02.	Yamamura Yoshiteru: „Über den Stand des Foto–Materials (Negativ Abdruck) der Siebold-Dokumentationen im Tōyō Bunko“
047.	3 月 9 日	大井剛:「東洋文庫のシーボルト資料について (1)」
	09.03.	Ooi Takeshi: „Inhalt der Siebold–Materialien in der Tōyō Bunko–Oriental Library (1)“

048.	4 月 6 日	大井剛：「東洋文庫のシーボルト資料について （2）」
	06.04.	Ooi Takeshi: „Inhalt der Siebold–Materialien in der Toyo Bunko–Oriental Library (2)“
049.	5 月 18 日	坂本菊男：「私の扱ったシーボルト関連図書 （1）」
	18.05.	Sakamoto Kikuo: „Mein Handel mit Siebold–Büchern (1)“
050.	6 月 15 日	坂本菊男：「私の扱ったシーボルト関連図書 （2）」
	15.06.	Sakamoto Kikuo: „Mein Handel mit Siebold–Büchern (2)“
051.	9 月 7 日	大胡真人：「第 50 回シーボルト・ゼミナールの回顧と展望」
	07.09.	Ohgo Mahito: „50 Mal Siebold-Seminar-Rückblick und Ausblick“
052.	10 月 19 日	沓澤宣賢：「アレキサンダー・フォン・シーボルト -彼の誕生から明治政府の大蔵省出仕まで （1）」
	19.10.	Kutsuzawa Nobukata: „Alexander von Siebold - Von seiner Geburt bis zum Dienst im Finanzministerium de Meiji-Regierung (1)“
053.	11 月 2 日	沓澤宣賢：「アレキサンダー・フォン・シーボルト ー明治政府の外務省出仕から 1911 年彼の没年まで （2）」
	02.11.	Kutsuzawa Nobukata: „Alexander von Siebold − Vom Dienst im Außenministerium der Meiji-Regierung bis zu seinem Tod im Jahr 1911 − Rückblick auf sein Leben (2)“
054.	12 月 18 日	加藤僖重：「プラントハンターとシーボルト。オランダ、ドイツ、日本における植物学的資料」
	18.12.	Kato Nobushige: „Plant hunter und Siebold. Siebolds botanisches Material in den Niederlanden, in Deutschland und Japan“

2010 年（平成 22）

055.	1 月 25 日	沓澤宣賢：「アレキサンダー・フォン・シーボルトが受け継いだ古写真に見るシーボルト一族（3）」
	25.01.	Kutsuzawa Nobukata: „Alexander von Siebold − Überliefertes Fotomaterial und Erläuterungen zur Gesamttätigkeit der Siebold-Familie (3)“
056.	2 月 8 日	古市健次：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトの 1826 年江戸参府旅行とオランダの友好的諸侯（蘭癖大名）との出会い」
	08.02.	Ichiko Kenji: „Philipp Franz von Siebolds Reise nach dem Hofe des Shōgun im Jahre 1826 und seine Begegnung mit hollandfreundlichen Fürsten (Rampeki Daimyō)"
057.	3 月 8 日	大沢真澄：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトと彼の日本における地質学的研究。鉱物収集活動と日本の温泉の化学的分析の紹介」

	08.03.	Osawa Masumi: „Philipp Franz von Siebold und seine geologischen Studien in Japan. Mineralische Sammeltätigkeit und Einführung chemischer Analyse von heißem Quellwasser in Japan (1)“
058.	4 月 5 日	大沢真澄：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトと彼の日本における地質学的研究。鉱物収集活動と日本の温泉の化学的分析の紹介」
	05.04.	Osawa Masumi: „Philipp Franz von Siebold und seine geologischen Studien in Japan. Mineralische Sammeltätigkeit und Einführung chemischer Analyse von heißem Quellwasser in Japan (2)“
059.	5 月 17 日	新田満夫：「プロシア東アジア遠征の図版。日本、中国およびシャム一覧。ベルリン 1864―74 年。1975 年ファクシミリ版について」
	17.05.	Nitta Mituo: „Ansichten aus Japan, China und Siam, Berlin, 1864-74. Motivation zur Neu–Herausgabe im Jahr 1975 des Tafelwerks der Preußischen Expedition nach Ostasien“
060.	6 月 14 日	ウォルフガング・ミヒェル：「近世初期の日欧文化交流における収集家と収集品」
	14.06.	Wolfgang Michel: „Frühneuzeitliche Sammler und Sammlungen im euro–japanischen Kulturaustausch“
061.	9 月 6 日	小川亘：「シーボルトと江戸時代（1608-1867）」
	06.09.	Ogawa Wataru: „Siebold und das Edo–Zeitalter (1608-1867)“
062.	10 月 18 日	橋本孝：「シーボルトとその時代の人々 ― 東と西。グリム兄弟 （1）」
	18.10.	Hashimoto Takashi: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 1: Die Brüder Grimm (1)“
063.	11 月 8 日	橋本孝：「シーボルトとその時代の人々 ― 東と西。グリム兄弟 （2）」
	08.11.	Hashimoto Takashi: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 1: Die Brüder Grimm (2)“
064.	12 月 13 日	橋本孝：「シーボルトとその時代の人々 ― 東と西。グリム兄弟 （3）」
	13.12.	Hashimoto Takashi: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 1: Die Brüder Grimm (3)“

2011 年（平成 23）

065.	1 月 7 日	加藤僖重：「江戸の大名と庶民. 植物による文化交流 （1）」
	07.01.	Katō Nobushige: „Daimyō und Bürger in Edo: ‚Kulturaustausch‘ durch Pflanzen an Fürstenhöfen der Edo–Zeit (1)“
066.	2 月 14 日	加藤僖重：「江戸の大名と庶民。植物による文化交流 （2）」
	14.02.	Kato Nobushige: „Daimyō und Bürger in Edo: Kulturaustausch durch Pflanzen an Fürstenhöfen der Edo–Zeit (2)“

067.	4 月 18 日	市古健次：「シーボルトとその時代の人々　－　東と西。日本における江戸後期の外国使節の外交文書の概要」
	18.04.	Ichiko Kenji: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 2: Ausländische Diplomaten der späten Edo–Zeit in Japan – Vorstellung diplomatischer Dokumente“
068.	5 月 16 日	石山禎一：「シーボルトとその時代の人々　－　東と西。フィリップ・フランツ・フォン・シー ボルトと関わった人々　(1)」
	16.05.	Ishiyama Yoshikazu: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 3: Philipp Franz von Siebolds Bekanntschaften (1)“
069.	6 月 13 日	石山禎一：「シーボルトとその時代の人々　－　東と西。フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトと関わった人々　(2)」
	13.06.	Ishiyama Yoshikazu: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 3: Philipp Franz von Siebolds Bekanntschaften (2)“
070.	9 月 12 日	内弘志：「シーボルトとその時代の人々　－　東と西。西郷隆盛と日本の近代化への貢献」
	12.09.	Uchi Hiroshi: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 4: Saigo Takamori und sein Beitrag zur Modernisierung Japans“
071.	10 月 18 日 － 20 日	大胡真人：「日独交流 150 周年、シーボルト・シンポジウム 2011」
	18.10.- 20.10.	Ohgo Mahito: „Deutsch-Japanisches Siebold Symposium 2011, 150 Jahre Freundschaft Deutschland-Japan. − Das Erbe Siebolds und neue Wege der Zusammenarbeit zwischen Japan und Deutschland“
072.	11 月 14 日	野村正雄：「シーボルトとその時代の人々　－　東と西。江戸時代における日本の科学者と計測機器」
	14.11.	Nomura Masao: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 5: Japanische Wissenschaftler und die Anwendung von Messegeräten in der Edo–Zeit“
073.	12 月 12 日	クラウス・シュミット：「シーボルトの日本における活動」
	12.12.	Klaus Schmidt: „Siebold-Aktivitäten in Japan“

2012 年（平成 24）

074.	1 月 23 日	野村正雄：「シーボルトとその時代の人々　－　東と西. 高野長英とシーボルト (1)」
	23.01.	Nomura Masao: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 6： Takano Chōei und Siebold (1)“
075.	2 月 13 日	堀憲昭：「シーボルトとその時代の人々　－　東と西。19 世紀の長崎の知識人」

	13.02.	Hori Noriaki: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 7: Intellektuelle in Nagasaki im 19. Jahrhundert“
076.	3 月 12 日	ボーダー・ベイリー：「シーボルトとその時代の人々 ― 東と西。日本における先行者エンゲルベルト・ケンペル、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト」
	12.03.	Beatrice M. Bodart–Bailey: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 8: Engelbert Kaempfer – Philipp Franz von Siebolds Vorgänger in Japan“
077.	4 月 9 日	大胡真人：「いわゆるシーボルト事件 - 新発見『ブロックハウス百科事典』」の記事」
	09.04.	Ohgo Mahito: „Die sogenannte ‚Siebold-Affäre‘: Neu-Entdeckung eines Artikels in der Brockhaus Enzyklopädie 1834“
078.	5 月 14 日	市古健次：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト『日本』と『日本動物誌』の日本の犬と狼 (1)」
	14.05.	Ichiko Kenji: „Japanischer Hund und Wolf in Fauna Japonica und Nippon von Philipp Franz von Siebold (1)“
079.	6 月 18 日	市古健次：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト『日本』と『日本動物誌』の日本の犬と狼 (2)」
	18.06.	Ichiko Kenji: „Japanischer Hund und Wolf in Fauna Japonica und Nippon von Philipp Franz von Siebold (2)"
080.	9 月 10 日	野村正雄：「シーボルトとその時代の人々 ― 東と西。高野長英とシーボルト (2)」
	10.09.	Nomura Masao: „Siebold und seine Zeitgenossen in Ost und West. Teil 6： Takano Choei und Siebold (2)“
081.	10 月 15 日	石山禎一：「シーボルトと東西間の情報伝達」
	15.10.	Ishiyama Yoshikazu. „Siebold und Informationsvermittlung zwischen Ost und West“
082.	11 月 12 日	大井剛：「フォン・シーボルト自身による著作『日本』の概観 (1)」
	12.11.	Ooi Takeshi: „Die von Siebold aufgestellte Übersicht seines Werkes Nippon (1)“
083.	12 月 3 日	河井弘志：「ドイツにおける図書館学の揺籃」
	03.12.	Kawai Hiroshi: „Entstehung der Bibliothekswissenschaft in Deutschland“

2013 年（平成 25）

084.	1 月 21 日	杉原領：「明治期以降日本の新聞、雑誌などのアレキサンダー・フォン・シーボルトに関する記事の探索」
	21.01.	Sugihara Ryo: „Suche nach Informationen über Alexander von Siebold in japanischen Zeitungen, Zeitschriften usw. seit der Meiji–Zeit“
085.	2 月 18 日	福岡孝純：「明治政府の五箇条の御誓文とその起草者福岡孝弟（1835−1919）」
	18.02.	Fukuoka Takazumi: „Der Kaiserliche 5–Artikel–Eid der Meiji–Regierung und sein Verfasser Fukuoka Takachika (1835-1919)“
086.	3 月 18 日	大井剛：「フォン・シーボルト自身による著作『日本』の概観 （2）」
	18.03.	Ooi Takeshi: „Die von Siebold aufgestellte Übersicht seines Werkes Nippon (2)“
087.	4 月 15 日	沓澤宣賢：「ブランデンシュタイン家所蔵シーボルト一家の古写真」
	15.04.	Kutsuzawa Nobukata: „Der Foto-Nachlass der Familie Siebold in Burg Brandenstein“
088.	5 月 20 日	石山禎一：「Ph. Fr. フォン・シーボルトの生涯をめぐる人びと」
	20.05.	Ishiyama Yoshikazu: „Ph. Fr. von Siebold - Personen in seinen Lebenskreis“
089.	6 月 17 日	松居宏枝：「明治時代初期のウィーンとベルリンにおける日本使節の派遣に関する研究」
	17.06.	Matsui Hiroe: „Eine Studie zu den japanischen Gesandtschaften in Wien und Berlin in der frühen Meiji–Ära“
090.	9 月 9 日	野村正雄 :「高野長英（1804−1850）、シーボルトの生徒によるヨーロッパ哲学史に関する遺稿」
	09.09.	Nomura Masao: „Takano Chōei (1804 - 1850), Schüler von Philipp Franz von Siebold. Nachlass der Manuskripte über die Geschichte der europäischen Philosophie“
091.	10 月 21 日	大沢真澄：「江戸時代の化学実験－Ph.Fr.v.シーボルト、助手ビュルガー、宇多川榕庵の温泉分析」
	21.10.	Osawa Masumi: „Chemische Experimente in der Edo–Zeit. Analyse von Heißwasserquellen durch Ph. Fr. v. Siebold, Assistent Bürger und Udagawa Yōan“
092.	11 月 18 日	市古健次：「フィリップ・フランツ・シーボルトの『日本動物誌』」
	18.11.	Ichiko Kenji: „Die aussterbende Fauna in Japan. Philipp Franz von Siebolds Fauna Japonica“
093.	12 月 13 日	大井剛：「2013 年度シーボルト・ゼミナールの討論」
	13.12.	Ooi Takeshi: „Das Siebold-Seminar im 8. Jahr - Eine Diskussion zum Jahresende 2013“

2014 年（平成 26）

094.	1 月 20 日	大沢真澄：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルトと日本の考古学」
	20.01.	Oosawa Masumi: „Philipp Franz von Siebold und japanische Archäologie“
095.	2 月 17 日	酒井雁高：「日本文化の多様性と動向（1)」
	17.02.	Sakai Gankow: „Vielfalt und Grundströme der japanischen Kultur, Teil I“
096.	3 月 17 日	酒井雁高：「日本文化の多様性と動向（2)」
	17.03.	Sakai Gankow: „Vielfalt und Grundströme der japanischen Kultur, Teil II“
097.	4 月 14 日	酒井雁高：「日本文化の多様性と動向（3)」
	14.04.	Sakai Gankow: „Vielfalt und Grundströme der japanischen Kultur, Teil III“
098.	5 月 12 日	堅田智子：「アレクサンダー・フォン・シーボルトとドイツ学協会学校」
	12.05.	Katada Satoko: „Alexander von Siebold und die Schule des Vereins für deutsche Wissenschaften (Doitsugaku Kyōkai Gakkō)“
099.	6 月 16 日	三山陵：「中国民間版画のパワー―作る人・飾る人の夢と祈り―（1)」
	16.06.	Miyama Ryo: „Wünsche und Gebete – die Kräfte der chinesischen Druckkunst (1)”
100.	9 月 8 日	三山陵：「中国民間版画のパワー―作る人・飾る人の夢と祈り―（2）」
	08.09.	Miyama Ryo: „Wünsche und Gebete – die Kräfte der chinesischen Druckkunst (2)”
101.	10 月 6 日	ルプレヒト・フォンドラン：「日本、遠くて近い国か」
	06.10.	Ruprecht Vondran: „Deutschland und Japan – Sehr fern und doch ganz nah?”
102.	11 月 10 日	堅田智子：「アレクサンダー・フォン・シーボルトと黄禍論」
	10.11.	Katada Satoko: „Alexander von Siebold und die Diskussion um ‚die gelbe Gefahr‘“
103.	12 月 8 日	大胡真人：「アレクサンダー・フォン・シーボルト著『フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト最後の日本旅行』について（1）」
	08.12.	Ohgo Mahito. „Ph. Fr. von Siebolds letzte Reise nach Japan 1859 (1)“

2015 年（平成 26）

104.	1 月 19 日	大胡真人：「アレクサンダー・フォン・シーボルト著『フィリップ・ フランツ・フォン・シーボルト最後の日本旅行』について（2)」
	19.01.	Ohgo Mahito: „Ph. Fr. von Siebolds letzte Reise nach Japan 1859 (2)“
105.	2 月 16 日	野村正雄：「1862 年日本の小笠原諸島再探検について」
	16.02.	Nomura Masao: „Japans Expedition auf die Ogasawara–Inselkette im Jahre 1862“
106.	3 月 16 日	野村正雄とベアトリス・M・ボダルト・ベイリー、ダイアローグ：「江戸時代歴史資料による研究芽ソード」
	16.03.	Nomura Masao und Beatrice M. Bodart–Baily im Gespräch: „Forschungsmethoden basierend auf geschichtlichen Materialien der Edo–Zeit“
107.	4 月 20 日	寺田図書助勝廣：「江戸時代 厠の大系」

	20.04.	Terada Zushonosuke Katsuhiro: „Das System der Kawaya (Toiletten) in der Edo–Zeit“
108.	5 月 30 日	シーボルト・ゼミナール、100 回記念講演会講演「シーボルト研究の回顧と展望」講師： 石山禎一、沓澤宣賢、大井剛、堅田智子ほか。
	30.05.	100. Veranstaltungsjubiläum: „Siebold-Studien im Rück- und Vorausblick“
109.	6 月 15 日	堅田智子：「シーボルト、ミヒャエリス、スクリバの明治 13 年蝦夷見聞|ードイツ人の蝦夷地化とアイヌのまなざし」
	15.06.	Katada Satoko: „Die Yeso-Reise von Alexander von Siebold, Georg Michaelis und Julius Scriba: Kolonisation und Forschung nach Ainos von Deutschen“
110.	9 月 14 日	桂川靖夫：「シーボルトに贈られた蝦夷資料についてーアイヌ語辞典『蝦夷ヶ島言語』を中心に」
	14.09.	Katsuragawa Yasuo: Schenkung des Ezo– (Hokkaido) Materials an Philipp Franz von Siebold Ainu(o) Wörterbuch (Ezo Gashima Gengo)
111.	10 月 19 日	芝山師松本香：「芝山細工 ー 幕末明治の輸出工芸盛衰。万博を風靡した職人芸の謎を探る」
	19.10.	Matsumoto Kaori: „Blüte und Verfall des Shibayama–Handwerks“
112.	11 月 9 日	島田賢太郎：「シーボルトと北斎。シーボルトが持ち帰った日本風俗画ー （1）」
	09.11.	Shimada Kentarō: „Philipp Franz von Siebold und Hokusai (1)“
113.	12 月 14 日	島田賢太郎：「シーボルトと北斎。シーボルトが持ち帰った日本風俗画ー （2）」
	14.12.	Shimada Kentarō: „Philipp Franz von Siebold und Hokusai (2)“

2016 年（平成 28）

114.	1 月 18 日	大胡真人：「シーボルトの父親クリストフ・シーボルト（1767ー1798）。医学以前に哲学を学んだ若き医者 （1）」
	18.01.	Ohgo Mahito: „Christoph Siebold (1767-1798), Vater von Ph. Franz von Siebold (1)“
115.	2 月 15 日	大胡真人：「シーボルトの父親クリストフ・シーボルト（1767ー1798）。医学以前に哲学を学んだ若き医者 （2）」
	15.02.	Ohgo Mahito: „Christoph Siebold (1767-1798), Vater von Ph. Franz von Siebold (2)“
116.	3 月 14 日	大井剛：「年号のはなし： その歴史と現在 （1）」
	14.03.	Ooi Takeshi: „Nengō - Japanische traditionelle Jahresnamen (1)“
117.	4 月 11 日	大井剛：「年号のはなし： その歴史と現在 （2）」
	11.04.	Ooi Takeshi: „Nengō - Japanische traditionelle Jahresnamen (2)“
118.	5 月 16 日	加藤僖重：「シーボルト・伊藤圭介の日本植物目録と押し葉資料の比較研究ーボッフムとライデンの資料に別れて残る師弟の業績」

	16.05.	Katō Nobushige: „Ein Vergleich von Keisuke Itōs Japanischer Pfllanzenliste in Bochum mit dem Herbarium in Leiden“
119.	6 月 20 日	大胡真人：「フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト以後の日独交流 ― シーボルト没後 150 年によせて」
	20.06.	Ohgo Mahito: „Deutsch-Japanischer Austausch seit Philipp Franz von Siebold“
120.	9 月 12 日	寺田図書助勝廣：「鎧の話」
	12.09.	Terada Zushonosuke Katsuhiro: „Yoroi – Japanische Rüstungen“
121.	10 月 10 日–12 日	日独シーボルト・シンポジウム 2016―シーボルト没後 150 周年記念―「シーボルトの知的遺産と日独協力の新しい道」
	10.–12.10.	Deutsch–Japanisches Siebold–Symposium 2016. 3. Symposium in der Reihe seit 2006 im Rahmen des 150. Todestages von Philipp Franz von Siebold: „Das Erbe Siebolds und neue Wege der Zusammenarbeit zwischen Japan und Deutschland“
122.	11 月 14 日	堅田智子：「英国の旗の下に。アレクサンダー・フォン・シーボルトとアーネスト・サトウに見る明治外交― (1)」
	14.11.	Katada Satoko: „Unter britischer Flagge – Diplomatie in der Meiji–Zeit aus der Sicht von Alexander v. Siebold und Ernest Mason Satow (1)“
123.	12 月 12 日	堅田智子：「英国の旗の下に。アレクサンダー・フォン・シーボルトとアーネスト・サトウに見る明治外交― (2)」
	12.12.	Katada Satoko: „Unter britischer Flagge – Diplomatie in der Meiji–Zeit aus der Sicht von Alexander v. Siebold und Ernest Mason Satow (2)“

2017 年（平成 29）

124.	1 月 16 日	大胡真人：「日独シーボルト・シンポジウムの総括と 2017 年の展望」
	16.01.	Ohgo Mahito: „Rückblick auf das Deutsch-Japanische Siebold–Symposium 2016 und Diskussion über neue Reihen des Seminars in 2017“
125.	2 月 13 日	大井剛：「年号の本質。歴史からの省察」
	13.02.	Ooi Takeshi: „Das Wesen des nengō–Systems – Betrachtungen aus historischer Perspektive“
126.	3 月 17 日	酒井雁高：「浮世絵の成立」
	17.03.	Sakai Gankow: „Studien in Ukiyo-e“
127.	4 月 17 日	堅田智子：「外交官アレクサンダー・フォン・シーボルトの描いた明治日本 ― 広報外交戦略とその展開 (1)」
	17.04.	Katada Satoko: „Der japanische Diplomat Alexander von Siebold und seine Strategie von Public Diplomacy in der Meiji–Zeit (1)“

128.	5 月 15 日	堅田智子：「外交官アレクサンダー・フォン・シーボルトの描いた明治日本 ― 広報外交戦略とその展開 (2)」
	15.05.	Katada Satoko: „Der japanische Diplomat Alexander von Siebold und seine Strategie von Public Diplomacy in der Meiji–Zeit (2)“
129.	6 月 12 日	江戸がたり 壽々方（江戸がたり創始者）：「北門の功労者 アイヌ語通訳・上原熊次郎」
	12.06.	Suzukata Edogatari: „Kumajirō Uehara – Übersetzer der Ainu–Sprache“
130.	9 月 11 日	大胡真人：「ゴットフリート・ワーグナーの生涯 ― 美術と産業の融合」
	11.09.	Ohgo Mahito: „Das Leben von Gottfried Wagener – Integration von Kunst und Industrie“
131.	10 月 16 日	小野定康：「新しいデジタル・アーカイブのモデル構築」
	16.10.	Ono Sadayasu: „Modellaufbau eines neuen Digital–Archivs“
132.	11 月 8 日	道家達将：「ゴットフリート・ワグネルの日本における貢献 (1)」
	08.11.	Doke Tatsumasa: „Gottfried Wagener: Kenner und Erneuerer der japanischen Keramik – Sein Beitrag zur Modernisierung und Industrialisierung Japans (1)“
133.	12 月 11 日	道家達将：「ゴットフリート・ワグネルの日本における貢献 (2)」
	11.12.	Doke Tatsumasa: „Gottfried Wagener: Kenner und Erneuerer der japanischen Keramik – Sein Beitrag zur Modernisierung und Industrialisierung Japans (2)“

2018 年（平成 30）

134.	1 月 15 日	神内俊郎：「デジタル技術による創造と再生 (1)」
	15.01.	Kamuichi Toshiro: „Digitale Technologie für die Erschaffung und Wiederbelebung dieser Welt: Archive anlegen, Wissen teilen und Werte schaffen (1)“
135.	2 月 16 日	神内俊郎：「デジタル技術による創造と再生 (2)」
	16.02.	Kamuichi Toshiro: „Digitale Technologie für die Erschaffung und Wiederbelebung dieser Welt: Archive anlegen, Wissen teilen und Werte schaffen (2)“
136.	3 月 19 日	オスカー・バルテンシュタイン：「チューリップからビットコイン-Fake か Fakt か」
	19.03.	Oskar Bartenstein: „Von Tulpen zu Bitcoins – Fake oder Fakt ?“
137.	4 月 16 日	鎌谷親善：「シーボルトと和時計 (1)」
	16.04.	Kamatani Chikayoshi: „Siebold und japanische Uhren (wa–dokei), (1)“
138.	5 月 21 日	鎌谷親善：「シーボルトと和時計 (2)」
	21.05.	Kamatani Chikayoshi: „Siebold und japanische Uhren (wa–dokei), (2)“
139.	6 月 11 日	石山禎一：「シーボルトに提供した吉雄権之助の蘭語論文『日本の時間の数え方について』の一考察」

	11.06.	Ishiyama Yoshikazu: „Von der Einteilung des Tages bei den Japanern. Monographie in holländischer Sprache von Yoshio Gonnosuke (1785-1831)“
140.	9 月 10 日	大井剛： 日本の年号「元号」のゆくえ
	10.09.	Ooi Takeshi: „Quo vadis－Gengo (Japanische Jahresnamen) ?“
141.	10 月 8 日	ルプレヒト・フォンドラン：「ドイツと日本、共同の責任」
	08.10.	Ruprecht Vondran: „Deutschland und Japan in gemeinsamer Verantwortung“
142.	11 月 12 日	橋本真吾：「幕末知識人の世界認識」―箕作省吾(1821−1846)の対米観の形成―
	12.11.	Hashimoto Shingo: „Kenntnisse über die Welt während der späten Edo-Zeit. Mitsukuri Shōgo (1821–1846) und sein Beitrag zur Bildung eines Images der USA in Japan“
143.	12 月 10 日	宮崎克則 ／ アーフケ・ファン=エーヴァイク
	10.12.	Miyazaki Katsunori und Aafke van Ewijk: „SONOGI – Philipp Franz von Siebolds japanische Frau. Ihr erster Brief an Siebold nach dessen Rückkehr nach Holland (1830)“

2019 年（平成 31）

144.	1 月 21 日	大井剛：「地図にみる世界観：9 世紀から 19 世紀まで」
	21.01.	Ooi Takeshi: „Landkarten aus dem 9. bis 19. Jahrhundert und die ihnen zugrunde liegenden Weltanschauungen“
145.	2 月 18 日	安藤万有子：「17 世紀オランダ製地図の装飾絵画 ―ブラウ『大地図帳』を例として―」
	18.02.	Andoh Mayuko: „Dekorative Malereien in holländischen Atlanten des 17. Jahrhunderts am Beispiel des Grooten Atlas von Jean Blaeu“
146.	3 月 11 日	橘伸子 ／ 大井剛：『17 世紀オランダの地図出版者たち』
	11.03.	Tachibana Nobuko / Ooi Takeshi: „Herausgeber von Landkarten im 17. Jahrhundert in Holland“
147.	4 月 22 日	大胡真人：『画家ミヒャエル・クーデンホーフ=カレルギー教授（1937−2018）とその一族の回顧 （1）』
	22.04.	Ohgo Mahito: „Erinnerungen an den Maler Prof. Michael Coudenhove-Kalergi (1937-2018) und seine Familiengeschichte (1)“

（令和元年）

148.	5 月 20 日	大胡真人：『画家ミヒャエル・クーデンホーフ=カレルギー教授（1937−2018）とその一族の回顧 （2）』
	20.05.	Ohgo Mahito: „Erinnerungen an den Maler Prof. Michael Coudenhove-Kalergi (1937-2018) und seine Familiengeschichte (2)“

149.	6 月 17 日	水上勝義: 『漢方医学と西洋医学の融合』
	17.06.	Mizukami Katsuyoshi: „Kampō-Medizin und europäische Medizin“
150.	9 月 14 日	石山禎一: 『シーボルトの書簡類をめぐって』— 200 通をこえる再検証から ー
	14.09.	Ishiyama Yoshikazu: „Neue Erkenntnisse zur Siebold-Forschung“
151.	9 月 21 日	水上勝義:『漢方と西洋医学の融合』パート 2
	21.09.	Katsuyoshi Mizukami: „Kampō-Medizin und europäische Medizin (Teil 2)“
152.	11 月 18 日	沓澤宣賢:『ウィーン万国博覧会とシーボルト兄弟』
	18.11.	Nobukata Kutsuzawa: „Die Weltausstellung in Wien (1873) und die Gebrüder Siebold“
153.	12 月 16 日	前田麻名: 『 図説漢方医薬大事典 ”ボタニカルアート”の誕生 』
	16.12.	Mana Maeda: „Über das Projekt ‚Digitalisierung des Illustrierten Lexikons der Kampō-Medizin, Botanical Art‘ von Chen Chan Yuen“

2020 年（平成 32）

154.	1 月 13 日	大胡真人: 『 OAG 所蔵シーボルト旧蔵書について 』
	13.01.	Mahito Ohgo: „Über den Nachlass der Siebold-Bibliothek in der OAG“
155.	2 月 24 日	大胡真人: 『 OAG 所蔵シーボルト旧蔵書について 』パート 2
	23.02.	Mahito Ohgo: „Über den Nachlass der Siebold-Bibliothek in der OAG. Teil 2“
156.	9 月 7 日	大沢眞澄:『 シーボルトの薬物コレクション—本草学の視点より 』
	07.09.	Masumi Ōsawa: „Mineralien, Steine, pharmazeutische Materialien und archäologische Funde in der Siebold-Sammlung zu Leiden“
157.	10 月 5 日	大胡真人:「ウュルツブルク大学医学部の改革者−Carl Caspar von Siebold 1736−1807」
	05.10.	Mahito Ohgo: „Der Reformator der Medizinischen Fakultät der Universität zu Würzburg, Carl Caspar von Siebold (1736-1807) – Stammvater der Würzburger Siebold – (Großvater von Ph. Fr. v. Siebold)“
158.	11 月 2 日	櫻庭美咲:「シーボルト・コレクションの陶磁器」
	02.11.	Dr. Miki Sakuraba: „Keramik aus der Siebold-Sammlung im Museum Fünf Kontinente München“
159.	12 月 14 日	藤野一樹:「シーボルトは日本の TV や映画でどう伝えられてきたか」
	14.12.	Fujino Kazuki: „Das Siebold-Bild im japanischen Fernsehen“

2021 年（平成 33）

160.	4 月 5 日	佐々木勇:「今、考える澁澤栄一翁の言葉」
	05.01.	Isamu Sasaki: „Eiichi Shibusawa (1840-1931): Begründer des modernen Wirtschaftssystems in Japan. Leben und Motto“
161.	11 月 15 日	大胡真人: 「澁澤栄一とアレキサンダー・フォン・シーボルトのパリ万博と欧州旅行」
	15.11.	Mahito Ohgo: „Shibusawa Eiichi (1840-1931) und Alexander v. Siebolds (1846-1911) Europa-Reise im Anschluss an die Pariser Weltausstellung (1867) mit dem Bruder des Shōgun“、TEIL I
162.	12 月 13 日	大胡真人:「澁澤栄一とアレキサンダー・フォン・シーボルトのパリ万博と欧州旅行、その2」
	13.12.	Mahito Ohgo: „Shibusawa Eiichi (1840-1931) und Alexander v. Siebolds (1846-1911) Europa-Reise im Anschluss an die Pariser Weltausstellung (1867) mit dem Bruder des Shōgun“, TEIL II

2022 年（平成 34）

163.	4 月 18 日	日梶輝行:「シーボルト事件の新たな知見」パート 1
	18.04.	Prof. KAJI Teruyuki: „Neue Erkenntnisse zur ‚Siebold-Affaire‘“, Teil 1/2
164.	9 月 5 日	梶輝行「シーボルト事件の新たな知見」パート 2
	05.09.	Prof. KAJI Teruyuki: „Neue Erkenntnisse zur ‚Siebold-Affaire‘“, Teil 2/2
165.	10 月 17 日	大胡真人:「澁澤栄一とアレキサンダーフォン・シーボルトのパリ万博と欧州旅行、その 3」
	17.10.	Mahito Ohgo: „Shibusawa Eiichi (1840-1931) und Alexander v. Siebolds (1846-1911) Europa-Reise im Anschluss an die Pariser Weltausstellung (1867) mit dem Bruder des Shōgun“, TEIL III
166.	11 月 14 日	大井剛:「朝鮮半島の古代史:加羅(加耶)諸国の真実を求めて」パート I
	14.11.	Ooi Takeshi: „Die Altertumsgeschichte über die Koreanische Halbinsel – Suche nach Wahrheit über Kara (Kaya)“
167.	12 月 12 日	大井剛: 「朝鮮半島の古代史:加羅(加耶)諸国の真実を求めて」パート II
	12.12.	Ooi Takeshi: „Die Altertumsgeschichte über die Koreanische Halbinsel – Suche nach Wahrheit über Kara (Kaya), Teil 2“

2023 年（平成 35）

168.	1 月 23 日	大井剛：「朝鮮半島の古代史：加羅（加耶）諸国の真実を求めて」パート III
	23.01.	Ooi Takeshi: „Die Altertumsgeschichte über die Koreanische Halbinsel – Suche nach Wahrheit über Kara (Kaya), Teil 3“
169.	2 月 22 日	杉原領:「アレキサンダー・フォン・シーボルトの明治期新聞記事と自筆資料」
	22.02.	Sugihara Ryō: „Informationen über Alexander von Siebold in japanischen Printmedien und handschriftlichen Quellen seit der Meiji-Zeit“
170.	3 月 20 日	大胡真人：「アレキサンダー・フォン・シーボルトと明治神宮外苑絵画館の歴史画」
	20.03.	Mahito Ohgo: „Die historischen Gemälde der Galerie im Meiji-Schrein und Alexander von Siebold“
171.	4 月 17 日	大胡真人:「アレキサンダー・フォンシーボルトと明治神宮外苑絵画館の歴史画」パートⅡ
	17.04.	Mahito Ohgo: „Die historischen Gemälde der Galerie im Meiji-Schrein und Alexander von Siebold“, Teil 2
172.	5 月 15 日	田野武夫：「ドイツ公文書館の桂太郎(1848−1913)ドキュメント探訪」
	15.05.	Prof. Takeo TANO: „Suche nach Dokumenten über Katsura Tarō (1848-1913) in deutschen Archiven“, Teil I
173.	6 月 12 日	田野武夫：「ドイツ公文書館の桂太郎(1848−1913)ドキュメント探訪」、その２
	12.06.	Prof. Takeo TANO: „Suche nach Dokumenten über Katsura Tarō (1848-1913) in deutschen Archiven“, Teil II
174.	9 月 4 日	大沢眞澄:「私のシーボルト研究」
	04.09.	Prof. emer. Masumi Osawa: „Meine Studien über Ph. Fr. von Siebold“
175.	10 月 16 日	大胡真人:『1823 年の若きシーボルト』
	16.10.	Mahito Ohgo: „Der junge Siebold im Jahr 1823. Reise nach Ost-Asien und weiter nach Japan“